

松野けんいちろう

市議会レポート

長岡の未来を切りひらく!

Vol. 9 2022年1月 発行

市政に無関心でも無関係ではられない!!

討議資料

はじめに

こんにちは！長岡市議会議員の松野けんいちろうです。
長岡市内においては、皆さまの行動自粛やワクチン接種の進捗などにより、新型コロナウイルス感染拡大は落ち着いております。しかし、海外では新たな変異株（オミクロン株）が流行の兆しがあり、国内でも感染者が確認されていることや、気温の低下により密が生じる機会が増えることから、感染の再拡大が懸念されております。
長岡市のワクチン接種率が高い状況と3回目の接種準備が進み安心するところ

であります、感染症拡大防止対策の基本であるマスクの着用・手洗い・うがいなどの対策を実施し今後に備えなければなりません。

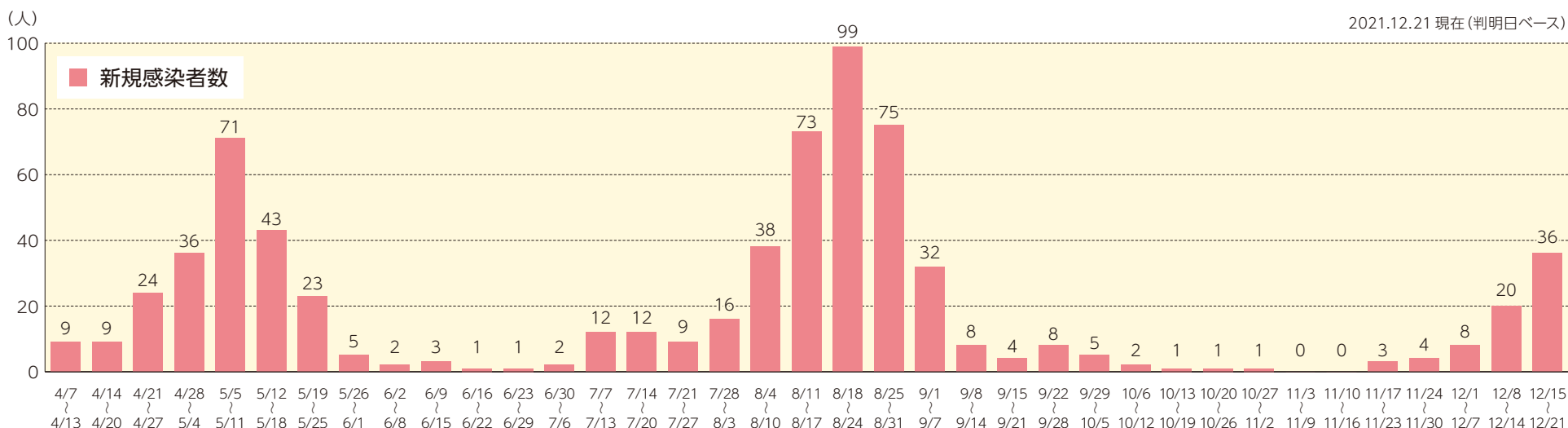
今回、2019年から2021年の3年間でまとめた議会レポートを発行いたしました。3年間のほとんどがウイルス禍であり、活動範囲が相当制限されておりますが、皆さまの地域に貢献できるよう引き続き取り組んで参ります。

長岡市議会議員 **松野憲一郎**

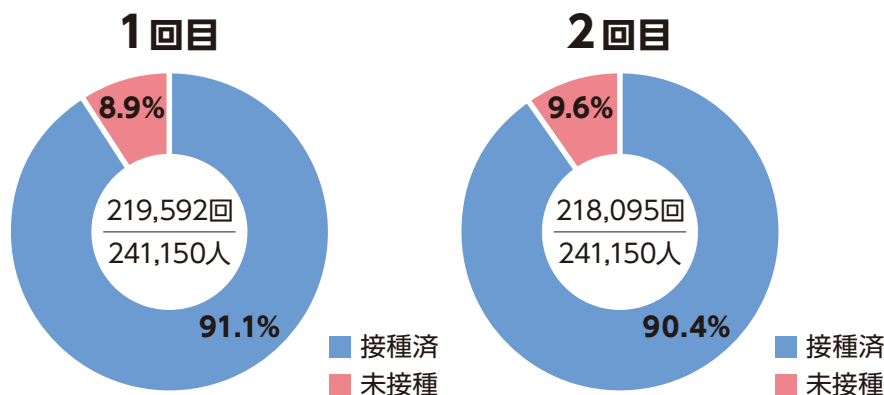
新型コロナウイルス感染症について

●長岡市内の新規感染者数の推移（2021年4月7日～2021年12月21日）

※グラフは長岡市HP参照



●ワクチン接種状況



●年齢別のワクチン接種回数及び接種率

年 齢	対象者数	1回目接種		2回目接種	
		接種回数	接種率	接種回数	接種率
65歳以上	84,541人	80,626回	95.4%	80,192回	94.9%
60～64歳	16,609人	15,547回	93.6%	15,506回	93.4%
50～59歳	34,167人	31,285回	91.6%	31,157回	91.2%
40～49歳	36,587人	32,661回	89.3%	32,460回	88.7%
30～39歳	26,922人	23,189回	86.1%	22,985回	85.4%
20～29歳	23,641人	20,383回	86.2%	20,172回	85.3%
12～19歳	18,683人	15,901回	85.1%	15,623回	83.6%
合 計	241,150人	219,592回	91.1%	218,095回	90.4%

※対象者人数は2021.12.21時点

●ワクチン3回目接種 全体スケジュール

2回目接種の8カ月後以降から、順次追加接種を受けられるよう、段階的に追加接種用の接種券を発送します。

区 分	追加接種のスケジュール (予定)					
	令和3年		令和4年			
	11月	12月	1月	2月	3月	4月～
医療従事者等	接種券 (段階的に発送)		追加接種 (順次接種開始)			
65歳以上の高齢者			個別通知		接種券 (段階的に発送)	
18歳～64歳の方			個別通知		接種券 (段階的に発送)	

※国からのワクチンの供給状況や関係団体との調整により変更する場合があります。

定例会・委員会での質問 <2019年>

<一般質問>

1. 非常災害時の対応について

2019年は7・13水害や中越地震から15年が経過し、以降、長岡市の市役所機能は市の中心部へと移転していることから質問。

※台風15号の影響により千葉県内の自治体が機能マヒする前に質問!!

Q: 庁舎において電源喪失を想定した実働訓練の必要性について

A: 現時点では電源を喪失した訓練は考えていないが、機器の点検を行うとともに適切な訓練の実施を検討する。【答弁者：財務部長】

Q: 民間企業を含めた関係機関と連携した電源供給を目的とした訓練の必要性について

A: 本庁舎は防災拠点となることから、72時間稼働する自家発電設備が設置されているとともに電源遮断時には別系統から電源が供給されるようになっている。また外部から非常用電源車を接続できる接続盤も設置し、電源喪失を想定した対応を行っている。【答弁者：財務部長】

2. 長岡市のエネルギー政策と理解活動について

Q: これまでのエネルギーの歴史や最近の中東情勢、ホルムズ・マラッカ海峡のシーレーンの状況と日本のエネルギー自給率9%に触れ、長岡市の再生可能エネルギーの活用について。また、長岡市や民間事業者の再生可能エネルギー施設の理解・周知活動について

A: 生ごみバイオマス発電、メガソーラー発電所、天然ガス発電所、雪を活用したデータセンターなど新たな雇用も生まれている。また、市民への理解・周知活動を広報誌などで行い、年間多くの視察受け入れも行っている。【答弁者：磯田市長、地方創生推進部長】



<委員会質問>

1. 無電柱化の現状について

Q: 台風15号（暴風）、19号（大雨）と性質が異なる台風被害を踏まえた無電柱化の推進に対する考えについて

A: 無電柱化協議会にて協議を進めながら、緊急輸送路を含め推進を行ってきた。台風19号のような水害に対する考え方については、機器塔を含め水害に弱いことも認識している。今後、台風19号の検証を国でも進めると聞いているので注視していきたい。また、政府の新経済対策でも、緊急輸送路個所での無電柱化が掲げられているので、協議会にて協議・推進していく。【答弁者：土木政策調整課長】

2. 水道施設の管理について

Q: 水道事業におけるAI（人工知能）、IoT（モノのインターネット）を活用した先進事例と市での活用について

A: 先進事例では水道スマートメーター（次世代量計）について関心を持っている。既に愛知県豊橋市で新造成地に水道・ガス・電気が共同で取組んでいる。【答弁者：水道局 業務課長】

【意見】

様々な付加価値（一人暮らしの高齢者の見守りなど）があり期待されていることから今後の先進事例の動向を注視していただきたい。

【その他の質問】

- ・信濃川東西を結ぶ送水管バックアップ体制と橋梁添架部の耐震対策について
- ・水道施設の浸水や土砂災害対策について
- ・市が管理するカーブミラーや道路照明灯の管理について
- ・公園の利用について



定例会・委員会での質問 <2020年>

<一般質問>

1. 今後の食品ロス削減に向けた取組について

『もったいない』という言葉が根付いている日本であるが、食品ロスは年間643万トンといわれている。家庭系の食品ロスが291万トン、事業系の食品ロスが352万トン。世界で飢餓に苦しむ人々が多くいるなかで、食糧の自給率が約38%と低い日本が大量の食糧を輸入しておきながら、多くの食品を捨ててしまっている現状である。

また、長岡市内でも広がりを見せている、みんな食堂（地域食堂）が、フードバンク活動を行っている団体からのお米などの提供により支えられていることから質問。



Q：子ども食堂を陰で支えているフードバンク活動の支援について

A：フードバンク活動は、食品ロス削減や貧困を抱えている人に食品をつなぐための有効な手段である。市としては、活動を行っているNPO団体への支援として、2019年10月から1カ月間開催された県下一斉フードドライブキャンペーンで事業者へのPRIに協力した。また、社会福祉センタートモシアなどで食品寄贈窓口を設けているほか、消費者向けセミナーの開催に併せ、食品寄贈を受け付ける場所を設けるなど連携した取組を行っている。
【答弁者：磯田市長】

【その他の質問】

- ・将来を担う子供たちが学ぶ教育現場での食品ロス削減の取組について
- ・食品ロス削減推進計画策定について



2. 安全・安心なまちづくりについて

2018年5月に新潟市西区において小学2年生女児が殺害され、線路に遺棄されるという痛ましい事件があった。防犯・犯罪抑止の観点から長岡市も防犯カメラ設置をより積極的に、そして防犯灯設置に助成措置があるように防犯カメラ設置についても助成措置が必要であると考えている。また、高齢化社会においても防犯カメラの力が発揮されることから今回質問。

Q：子どもの見守りなどに有効な防犯カメラ設置に対する考えについて

A：防犯カメラは、公共空間の安全・安心の維持や犯罪の抑止につながる有効な手段の一つになるものと認識している。市内では、長岡地域で防犯カメラの設置への関心や御意見が徐々に増えていることを承知している。
長岡地域防犯協会と連携し、防犯カメラの設置支援について研究している。一方で、プライバシーの問題や設置場所の基準、管理体制、維持費用を誰が、どのように負担するのか、そして見守り活動とどう連携していくのかという課題があり、検証の必要があると考えている。
【答弁者：市民協働推進部長】

3. 新型コロナウイルス感染症対応関連について

【質問】

- ・今後の感染症対策の考え方や新しい生活様式の啓発について
- ・市役所内部におけるテレワーク環境や制度の整備について
- ・新型コロナウイルス感染症に対する行動計画について
- ・高齢者や障がい者など生活弱者に対する避難行動について
- ・人権侵害について
- ・避難所運営マニュアルの見直しについて

4. 豚熱（CSF）対応について

【質問】

- ・本市の養豚事業者の現状と、感染拡大に伴う事業者への影響について
- ・豚熱が発生した場合において、市の役割と県との連携について
- ・市内養豚場のワクチン接種状況と、その効果について

5. PCB廃棄物の処分について

PCBとは…「ポリ塩化ビフェニル」

油状の物質で、熱で分解しにくい・不燃性・電気絶縁性が高いなど安定した性質を有することから、電気機器の絶縁油、熱交換器の熱媒体、ノンカーボン紙など様々な用途で利用されてきましたが、現在は製造・輸入ともに禁止されています。

脂肪に溶けやすく、慢性的な摂取により体内に徐々に蓄積し、様々な症状を引き起こすことが報告されています。

昭和43年に食用油の製造過程において熱媒体として使用されたPCBが混入し、健康被害を発生させたカネミ油症事件があります。一般にPCBによる中毒症状として、目やに、爪や口腔粘膜の色素沈着、ざ瘡様皮疹（塩素二キビ）、爪の変形、まぶたや関節の腫れなどが報告されています。

出典：「ポリ塩化ビフェニル(PCB)使用製品及びPCB廃棄物の期限内処理に向けて」(環境省)を加工して作成

PCBを使用している機器は過去に事業をしていた自宅、倉庫、車庫、電気室、機械室などに設置されていたり、取り外して保管されていたりすることもあります。再度、確認し処分漏れのないようにする必要があります。また、処分期限を過ぎてしまうと、永久に処分ができなくなることから、不法投棄や災害発生時の災害ごみにつながることから市民の皆さまに知っていただく必要があると考え質問。

【その他の質問】

- ・処理期限が迫るPCB廃棄物処理の市民周知について
- ・市有施設におけるPCB廃棄物の処理状況、保管状況について

一般質問の結果

市民の皆さまへ周知されました

- PCB廃棄物について、長岡市ホームページに掲載！
- 市政だより2021年1月号にPCB廃棄物処理期限について掲載！

<委員会質問>

Q：水道料金支払いのキャッシュレス化について

A：クレジットカードの支払いは、導入に際してシステムの改修に非常に高額な費用がかかるということと、決済ごとにカード会社に支払う手数料がほかの支払い方法に比べて割高になる。経営に影響が出る懸念があることから、現在は導入を見送っている状況である。一方で、キャッシュレス支払い、スマートフォンを使用する支払いは、現在のコンビニエンスストアの収納代行会社で提携していることからキャッシュレスサービス利用の初期費用があまりかからず導入できるという見込みになっているので、可能なところから導入に向けて準備をしている状況である。2020年6月より利用可能。【答弁者：水道局業務課長】



【その他の質問】

- ・水道管の法定耐用年数40年と布設替えについて
- ・ごみ収集作業員の感染予防対策と感染リスクについて
- ・ごみ収集運搬委託業者に新型コロナウイルス罹患が発生した場合の事業継続体制
- ・エッセンシャルワーカー（社会生活に不可欠）への人権侵害について
- ・特別定額給付金申請後の個人情報書類等の取扱いについて
- ・長岡市の観光政策の今後の方向性について
- ・生ごみバイオガス発電センター見学再開の見通しに状況について
- ・ウイルス禍におけるスポーツ推進委員の活動について
- ・ウイルス禍におけるトップアスリートを招いての交流（講習会）について
- ・コミュニティセンター講堂の空調設備整備工事の補正予算について

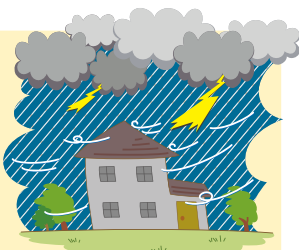
定例会・委員会での質問 <2021年>

<一般質問>

1. 大規模災害時の停電対応等について

2019年台風15号、19号と立て続けに東日本に上陸し、最大93万戸で停電が発生。この台風では停電が長期化したことにより断水や通信障害など二次的な影響も出ました。

局所的に電気設備技術基準を上回る強風が吹いた可能性が高く、暴風雨によって倒木も相次ぎ、電柱の倒壊は2,000本を超えたのです。特に山間部では倒木が道路をふさぎ、復旧作業に入れない地域が続出したと言われております。こうした大規模災害時などで市民生活と安全を確保するために電力設備の迅速かつ円滑な復旧はその後の復旧・復興に大きな影響を及ぼすことから質問。



Q: 多様なインフラ事業者との連携に対する市の認識について

A: 近年多発する大規模災害に対し、行政機関と民間企業、消防団や自主防災会等の地域住民、ボランティアなどと多様な関係者が一丸となって、総力を挙げて救助、復旧に取り組むことが必要だと考えている。長岡市では、自治体や民間企業などとの間で応援派遣や物資の提供、供給、輸送、情報通信の確保など、およそ100件に及ぶ災害協定を締結し、万一来襲に備えている。特に、電気、ガス、通信、交通など社会基盤の迅速な復旧は市民生活の安全と安心、を確保し、復興を加速するために欠かせないものであることから、復旧に当たるインフラ事業者との連携は災害対策の重要なポイントであると認識している。【答弁者：磯田市長】

Q: 本市におけるインフラ事業者のプッシュ型支援の受け入れ態勢について

A: 全国のインフラ事業者が被災地に駆け付け、人海戦術で一斉に復旧を進めるプッシュ型支援については本市も大きな期待を寄せている。市としても、出勤の拠点となる候補地の選定、的確な情報提供、復旧に当たるインフラ事業者を最大限支援することなどが重要であると認識している。

【答弁者：磯田市長】

Q: 避難所の停電対策について

A: 避難所の停電対策を強化する必要があると考えている。今年度、全ての避難場所にLEDランタンを複数配備し、安全な避難に必要な最低限の照明を確保する。また、249カ所の避難場所のうち現在地区の拠点となる地区防災センターなど78カ所には発電設備を用意してあるが、残りの避難場所についても令和3年度から3年間で非常用発電機を順次計画的に配備し、停電対策を強化する。【答弁者：危機管理防災本部長】

2. 高齢者の健康を守る取組について

2020年緊急事態宣言が発出された時期は、ステイホームということで家にいる機会が増加している。【筋肉は裏切らない】という言葉も良く耳にしたのもこの時期である。筋肉を鍛える運動は老化防止に大きく役立ち、体力維持のためにエクササイズをしたいと考えている高齢者も多いのではないかと。

このウイルス禍で、外出を控えることで、運動不足になり高齢者の健康や体力、筋力がかなり低下し、健康にも被害が出ていると考え質問。

【質問】

- ・新型コロナウイルス感染症が拡大し1年が経過するが、運動不足による高齢者への影響について
- ・介護予防教室やサークル活動の実施に対し無関心層も存在するが、現在の介護予防活動について
- ・ウイルス禍での高齢者に対する健康を守る取組について

<委員会質問>

【質問】

- ・子どもの見守りにIoTタグを活用し、安全・安心な地域づくりの実証試験結果について
- ・地域と市などが連携して防犯や交通安全の情報を共有する安全・安心なまちづくりがスタートしているが、現在の取組状況と今後について
- ・防犯カメラの設置の取組状況について

活動スナップ 2021

豊田橋歩道工事状況確認

4月

8月

12月

2021年12月27日に車両通行止め解除

コミュニティセンター エアコン設置状況確認

新潟県原子力防災訓練 (魚沼市月岡公園)

フードバンク長岡(寄贈立会)

【高校総体】長岡工業高校生徒が作成したカウントダウンボード

長岡で開催された高校総体バスケットボール(男子)帝京長岡高校が準優勝

樹木伐採現地調査(柳原公園) (左:工事前)(右:工事後)

指定収集日と違うごみが出される問題について現地確認を実施

通学路安全点検のため現地調査(四郎丸)

電気工事組合、電機商業組合、電設業協会 市政要望立会い

女川原子力発電所勉強会

東日本大震災時に避難してきた地域住民364名を受け入れた東北電力女川原子力発電所視察(宮城県女川町)

